

子ども育成・若者活躍推進特別委員会行政視察報告

子ども育成・若者活躍推進特別委員会では、明石市と松本市を行政視察しました。
概要は以下のとおりです。

- (実施期間) 令和6年7月10日～令和6年7月12日
(視察都市) 明石市、松本市
(視察内容) 明石市：ひとり親家庭支援事業について
松本市：若者に関する取組について

〔明石市〕

明石市では、ひとり親家庭への支援事業について説明を受けた。

明石市では、ひとり親家庭総合支援事業として、ひとり親家庭の生活の安定や自立を図るため、各種支援事業の提供や相談の機会の充実を図っている。また、ひとり親家庭の保護者同士の交流の場をつくり、自助グループの育成に向けた取組を行っている。

具体的な取組として、児童扶養手当の現況届提出期間（8月）を「ひとり親家庭総合支援月間」と位置付け、気軽に専門的な相談が受け付けられるひとり親家庭総合相談会や、親同士の情報交換や親子の交流の機会を提供して、生活の不安や負担の軽減を図るとともに、おしゃべり会を開催して、自助グループの育成を図るひとり親家庭交流事業のほか、ひとり親家庭サポートパンフレットの配付、ひとり親家庭応援貸付金事業等がある。ひとり親家庭総合相談会の特定の日には、市の弁護士職員による法律相談を受け付けるサポートも行われている。

委員からは、ひとり親の資格取得等の状況や、情報発信に関することなどについて質問が出された。



(明石市での視察風景)

〔松本市〕

松本市では、若者に関する取組について説明を受けた。

松本市は、松本市地域づくりを推進する条例の中で、地域づくりを「安心して、いきいきと暮らせる住みよい地域社会を構築するため、市民が主体となって地域課題を解決していく活動や取組み」と定めており、松本らしい地域づくりに取り組んでいる。

また、基本計画の中に、若者が活躍できる環境づくりを位置付けており、人材育成、若者の活動支援、地域とのマッチングについて取組を行っている。

若者の主体的な社会参画を促進するため、若者で構成する団体が、まちの魅力向上や地域の課題解決に挑戦する事業に対して財政的支援を行う若者チャレンジ応援事業補助金や、若者の活動の発表および交流の場として開催される若者チャレンジカンファレンスなどの取組のほか、地域づくりヤングマイスター、学割でオトクにかえるパスポート事業（学割カエルパ！）、松本をもっとよくしようプロジェクト（まつもっと）、探求学習の支援、松本若者会議等が実施されており、各取組内容について説明を受けた。

若者に関する取組の成果として、若者と地域のマッチングや、若者チャレンジ応援事業補助金において令和5年度に8事業交付、令和6年度に11事業交付の実績がある。取組の課題や今後の展望等としては、若者への積極的な情報発信や若者のネットワーク構築等が挙げられる。

委員からは、若者に関する取組の位置付けに関することや、若者チャレンジ応援事業補助金や学割カエルパ！等の各種事業の具体的な内容について質問が出された。



（松本市での視察風景）